

平成23年10月14日(金)

第419回 史跡めぐり

初秋の水郷こしがや

コスモスと新方川岸をたどる

田園を流れる新方川(せんげん堀) 昭和40年代



NPO 法人越谷市郷土研究会



## 第419回 史跡めぐり

爽やかな秋空のもと、小鳥と会話し、

コスモスを愛で新方川岸を辿る。

実施日 平成23年10月14日(金)

集合 北越谷駅西口 午前8時15分

参加費 500円(入館料、資料、保険料)

コース

北越谷駅東口 (バス200円) → 小田急弥栄団地入口で下車

◎ 定使野公園 — 逆川の伏越・水神宮 → 新方領堀改修記念碑  
キャンベルタウン野鳥の森 → 大吉調節池

◎ 新方川土手

新方地区センター(トイレ) → 大吉のコスモス畑

平新堀排水機場 → くすのき荘(トイレ)

船渡道 → 広橋 → 児童館コスモス(トイレ)

念仏橋 → 新方領耕地整理の記念碑 → 大泊村の馬捨て場

◎ 千間台

戸井橋 → せんげん台駅

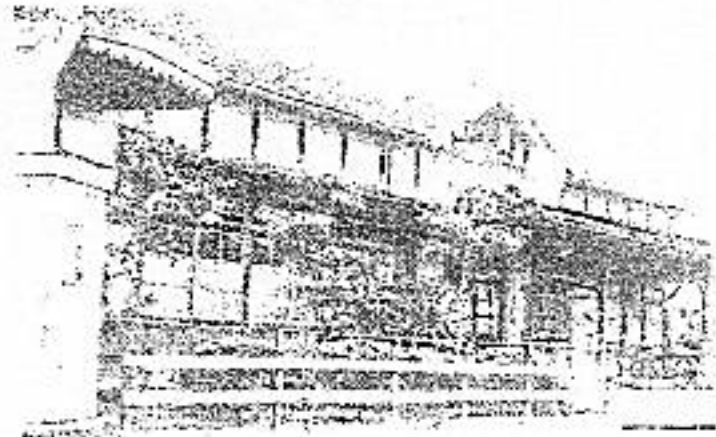
せんげん台駅 解散12時 徒歩5Km

案内者 常任理事 渡辺 和照

常任理事 田端 功政

## 北越谷駅

越ヶ谷停車場—明治32年8月完成、当時の東武鉄道の駅は北千住、西新井、草加、越ヶ谷、粕壁、杉戸、久喜の七駅。北千住・久喜間は運賃33銭、1日7往復。明治41年宮内庁埼玉御猟場ができ、大正8年武州大澤停車場と改称。大正9年現越谷駅の場所に越谷停車場開業、昭和2年東武鉄道の電化。昭和31年北越谷駅と改称、昭和37年地下鉄日比谷線相互乗り入れ、平成13年高架線完成した。



(30年代)

## 定使野公園

**定使**(じょうつかい)---近世の農村において、名主・庄屋の下にあって使い歩きをする者

### 水神宮

水の神、日本では農耕社会の進展とともに水神に対する信仰が重きをなしてきた。稲作に関連して適度の水を要求したところから、その精霊たる水神を重視したものである。また旱魃や水害にあわないよう祈った。この水神宮は個人の敷地内に祀られていたものである。

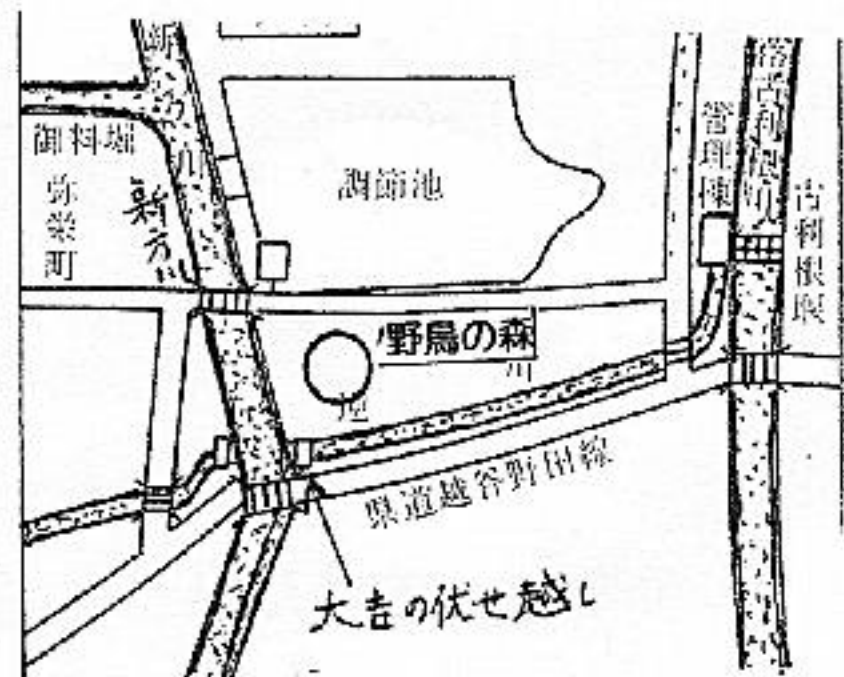
水神宮の敷地にある **石仏**

- ① 正面に「天下泰平」百八十八箇所巡礼塔。
- ② 正面に(地藏菩薩立像)念仏供養塔

## 大吉の伏せ越し

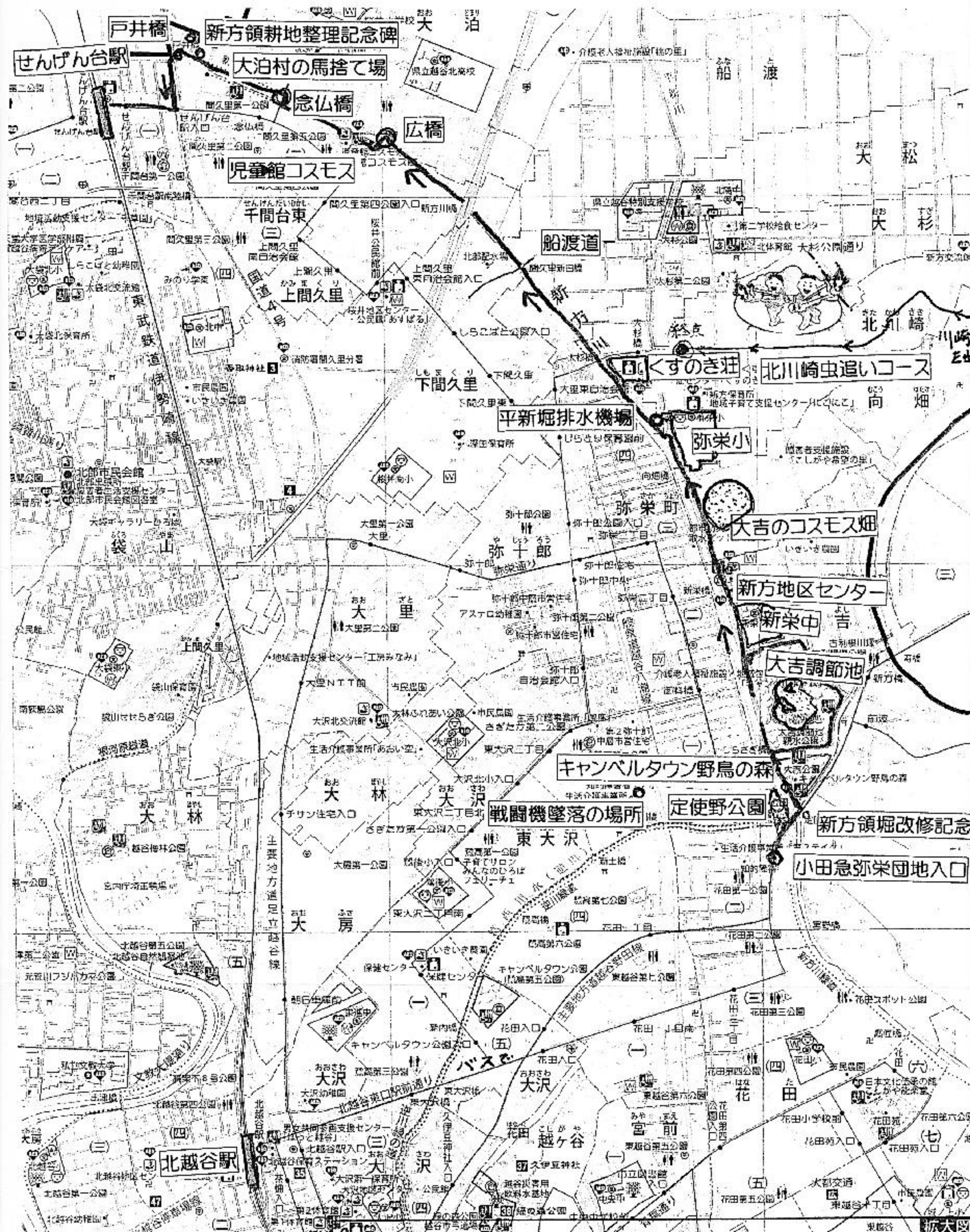
昭和57年の台風による集中豪雨には、弥栄町を中心に床上浸水2291戸、床下浸水4636戸に及ぶ被害をもたらした。しかも伏越樋管が狭小であったので、その湛水期間は一週間に及ぶという惨状でした。これにより建設省(国土・交通省)では、この年新方川を「河川激甚災害対策緊急事業」の対象河川に指定し、県営事業とし新方川の改修工事が進められた。この事業で、川幅の拡張・ブロック護岸の築堤、川底の浚渫、これにともなう橋の掛け替えと、新方川の伏越を逆転させるという工事で大きな事業でした。

すなわちこれは逆川を新方川の下を通ることにし昭和61年に完成した。





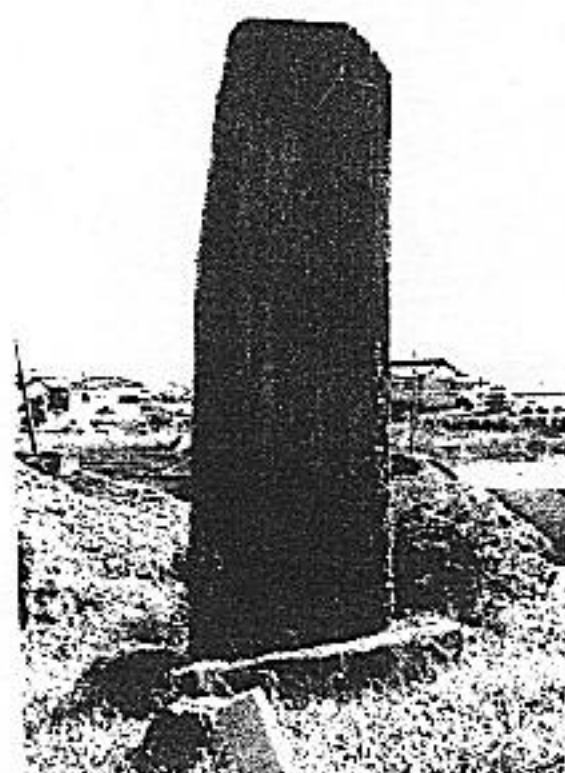
# 新方川周辺の地図





## 新方領堀改修記念碑

定使野橋の左岸、昭和8年建立 新方川(当時新方領堀)の川幅拡張、伏せ越し工事や排水工事に取り組んだことの記念碑。工事期間は昭和2～8年であった。



## キャンベルタウン野鳥の森

### 姉妹都市 キャンベルタウン市

シドニー市から南西53Km面積312平方Km(越谷の5.2倍)人口約16万(越谷の0.5倍)シドニーの穀倉地帯として小麦栽培が盛んな田園地帯であったが、現在は都市化が進み、人口が増加している。

### キャンベルタウン野鳥の森



キャンベルタウン野鳥の森

創立 平成7年(1995) キャンベルタウン市と姉妹関係10周年を記念してオーストラリアの「自然」を理解することを願って建設された。

施設 ① バートケージ ② ワラビー舎・運動場 ③ 管理等

おもな鳥 ① オーストラリアガマグチヨタカ ② キバタン ③ オーストラリアインチドリ ④ テンニョインコ ⑤ ワライカワセミ ⑥ ゴシキセイガイインコ ⑦ アカオクロオウム ⑧ シラコバト

## 越谷市の鳥「シラコバト」について

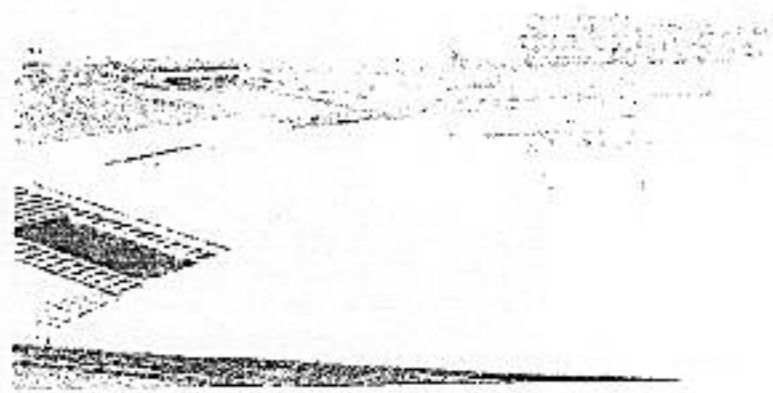
来歴---ユーラシア大陸に生息し、日本のシラコバトはインドの亜種で江戸時代に飼いならしたのが野生化した。越谷市内では、河川周辺の屋敷林の残る地域に見かける。昭和31年に天然記念物に指定された。

繁殖期は、3月から7月で樹上に皿型の巣を作り2個の卵を産む。





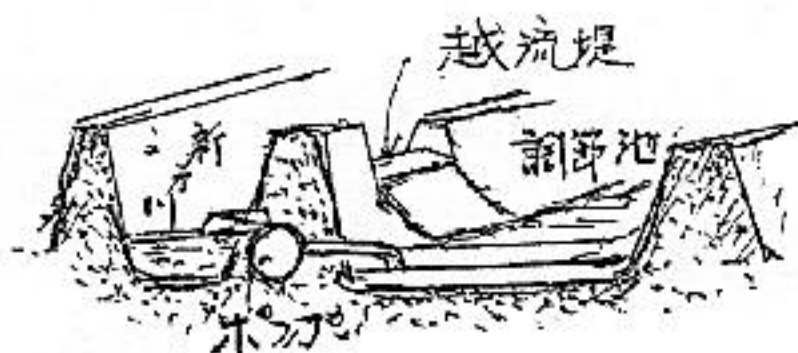
# 大吉調節池



新方川は、昭和20年代までは、地域の農業排水路として使われていました。かつて、この流域には大小の沼があり、大雨が降ると、沼や水田が保水の役割を果たしていた。昭和40年代に入り、急速な都市化によって沼や水田までも住宅化、大雨が降ると住宅が浸水被害を受けるようになりました。

## 調節容量は40万立方メートルとその仕組み

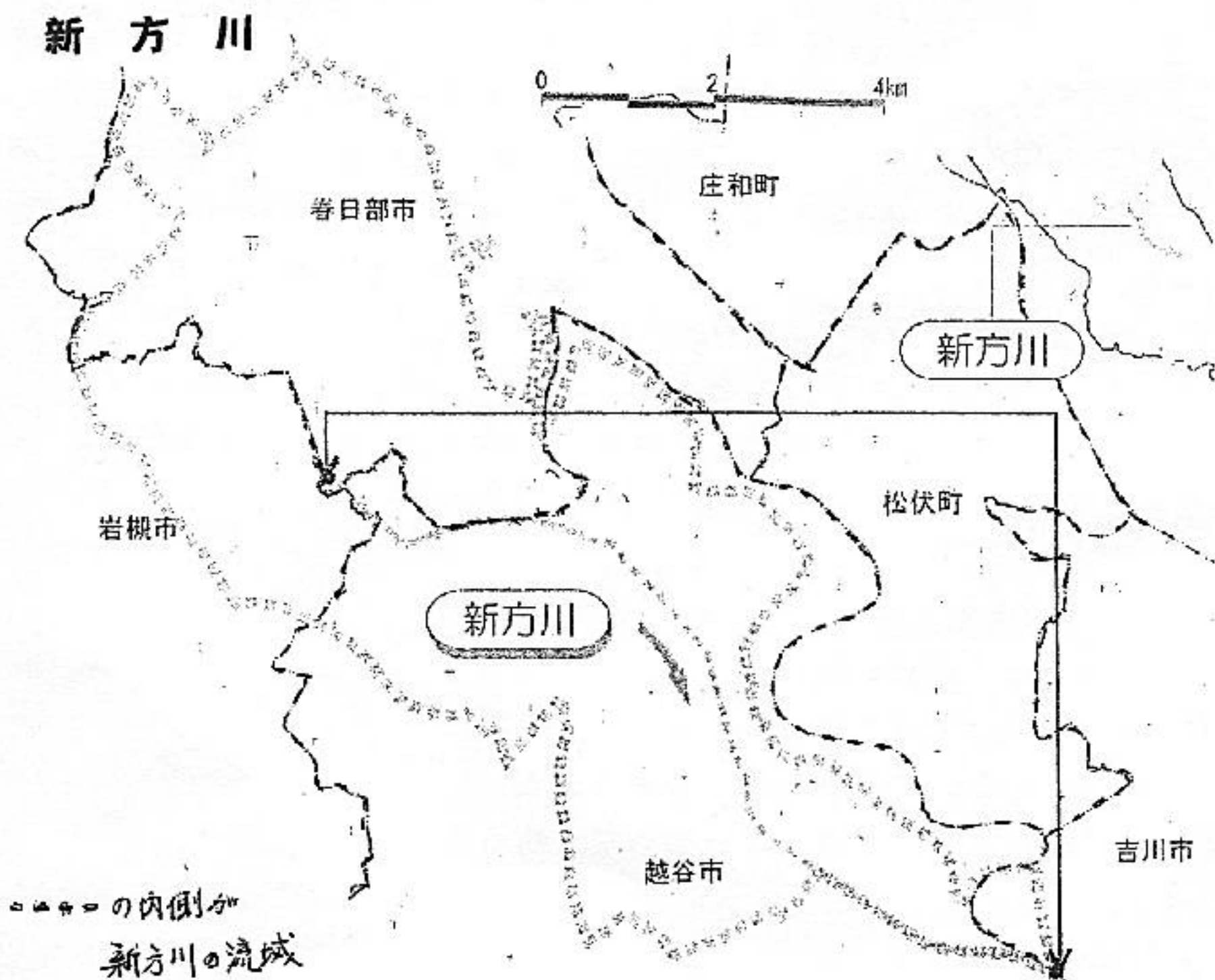
- ① 新方川が増水すると越流堤を越え調節池に流れ込む
- ② 川の水位が通常まで下がるとポンプで調節池の水を新方川に放流する。

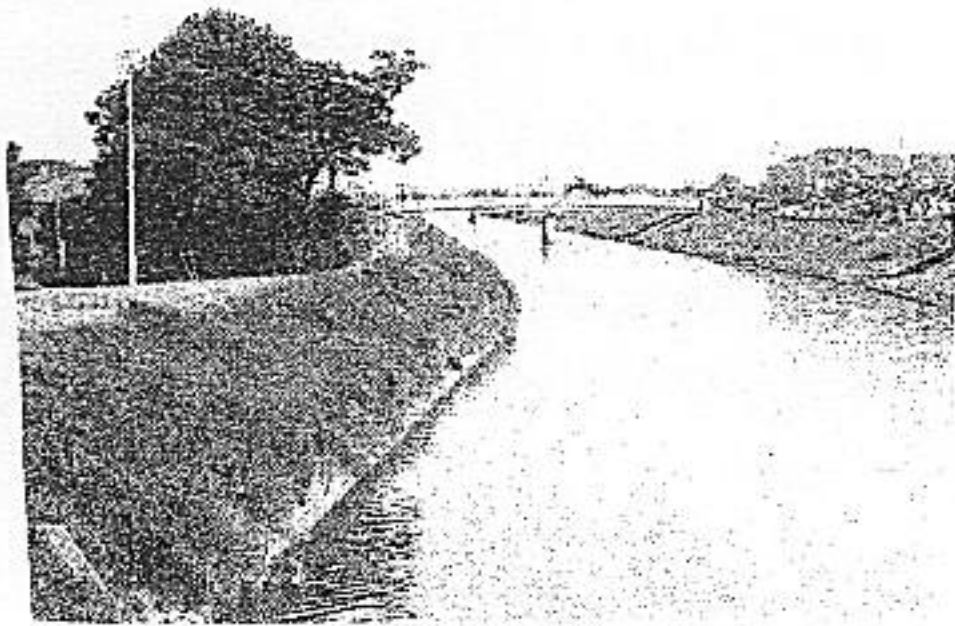


## 調節に隠された謎?

池の形は越谷市の地形

池の島は2つでシラコバト2羽を型どる





新方川は、埼玉県の春日部市とさいたま市の行政界付近にその源を発し、途中安之堀川・会之堀川・平新川・御料堀を合流し中川に注ぐ1級河川である。昭和57年、昭和61年の洪水で、弥栄町は水害を受けて、激震災害事業で改修された。

流域は元荒川・古利根川の自然堤防に囲まれた地域で流域面積40.6平方Km(越谷市の面積の68%)です。

### 大吉のコスモス畑—面積8ヘクタール

イベントは10月30日(日)



コスモスはキク科の一年草。花はかれんで美しい、径5~6cm中心の筒状花は黄色であるが、アキザクラ(秋桜)の和名もある。各地で栽培され、重弁花、大輪花、早咲、丁字咲などの園芸種がある。まわりの舌状化は白色、紅色、紅紫色などで色の種類が多い。



### 弥栄小学校



創立は昭和50年(35年目) 越谷市北川崎725

特色テーマ「輝く瞳・光る汗」 研究課題「心豊かにいきいきと活動する子どもの育成」

平成21年 生徒数494名 教員数26名

教材園を活用した栽培活動の実施、農業体験活動(田植え・稲刈り)の実施、子どもたちによるグループ別修学旅行の実施(鎌倉・箱根)が行われている。

### 新栄中学校

創立昭和56年(29年目) 越谷市大吉435

入学生—大澤北小、弥栄小、桜井南小から

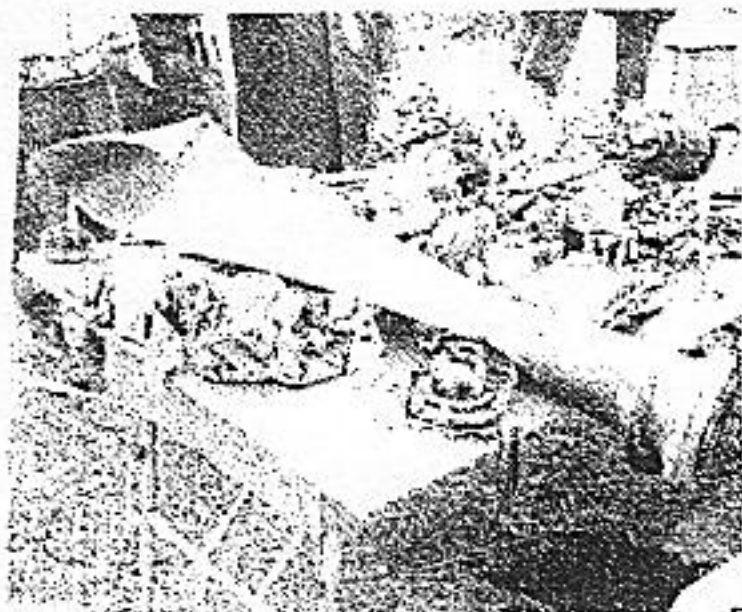
在校生513名 教員数27名 平成23年度 卒業数181名

☆ 一人一人の生徒の秘められた力の発揮とその伸長をはかります。

☆ 奉仕と感謝と協力の心を基調に、自他の人権を尊重します。



## 大吉の田圃に戦闘機墜落



発掘された飛行機部品

昭和20年4月7日の夜、大吉の加藤源蔵氏の田圃に、敵機と戦闘した戦闘機が墜落した。昭和46年10月に越谷市長宛に書面で、福井市長から「大吉に埋没している飛行兵」の発掘請願書が来た。飛行兵の母親からの発掘請願書が同封されていた。福祉事務所長から「平野きよ」さんに対応を依頼された。

「平野きよ」さんの努力で、越谷市、自衛隊、徳蔵寺の協力で昭和47年2月発掘を始め、飛行機の破片、落下傘、飛行士の遺体を発掘した。遺骨は遺族の福井市の母親に渡された。(飛行士の名前は平馬康雄22歳)

## 北川崎の虫追い

北川崎の虫追いは、北川崎の人々によって行われる農耕儀礼である。越谷地域では稲につく虫を駆除するため、例年虫追い(虫送り)行事が広く行われていたが、現在では、新方地区北川崎でわずかかに残されているだけである。



この行事は毎年7月24日の夜、部落(川崎北川崎虫追い(7月24日)村)の鎮守(川崎神社)に集合し、麦藁などを束ねた大きな松明に火をつけ、鉦と太鼓をたたき「稲の虫ホーイホーイ」と大声で叫びながら、あぜ道を行進する。やがて野末にいたると燃え残りの松明を一か所に積んで手打ちを行い解散する。

西方村では、寛政3年(1791)天候不順で稲に沢山の虫がつき麦藁の松明を作り虫追いをしたとの記録が残されている。

## くすのき荘 越谷市立老人福祉センター

市内在住60歳以上の方は「使用証」を提示することにより利用できる。

### 主要施設

多目的ホール——80名程度の会議、研修に利用



教養娯楽室——132畳の舞台付き大広間  
VTR ライブラリーコーナーや園芸・陶芸室、工芸室がある。

## 平新堀

「平方落し」——(平方村の農業排水路)の代わりをするために  
新方領耕地整理の一環として大正年間に作られた川。

## 越谷市立児童館コスモス

は「天文と物理」をテーマに児童館の機能と子どもの機能を併せもつ大型児童センターです。

1階——遊びと創造の階

2階——天文・宇宙の階

3階——科学・体験の階

ポラネタリウムを土・日に一般投影日(am11 pm2 pm3:30)です。

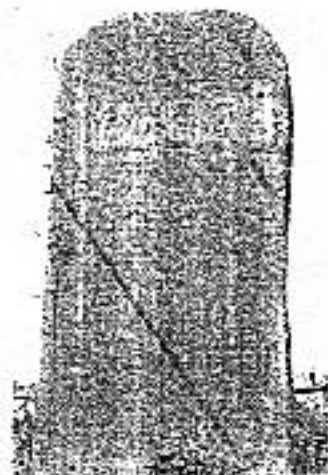
## 広橋

この広橋の北岸一帯の大泊村小字「広田」からきたと考えられる。

## 念仏橋

大泊村の安国寺の僧が念仏を唱えて渡ったと言われている。

## 新方領耕地整理の碑



新方領の耕地整理事業は2町7村にまたがる当時としては日本最大規模であった。明治42年から大正5年までの事業でした。推進派(憲政党)と反対派(政友会)と対立し事態は紛糾し、反対派は測量の妨害や内務省に数度の陳情にでかけ警官隊との衝突もあった。

## 大泊村の馬捨て場

大泊村のはずれにあった「馬捨て場」です。ここに馬頭観音の石仏があた。



## 千間堀---新方川

この千間堀が流れる一帯は新方領の一部であったので新方領堀と呼ばれていた。

「千間堀」とは「大変長い堀」と考えられる。

堤に桜が植えられ春には花見を楽しむ人で賑わう。

## 戸井橋

この橋と並行して間久里用水の流す掛け樋(トイ)があったのでトイ橋と呼ばれた考

えられる。

## せんげん台駅

千間堀の対岸にある武里団地(昭和41年に建設---当時は東洋一の団地)の住民の交通利便のため昭和42年に開設された駅である。

## 明治12年の新方地方町村

町村名に現在の鉄道路線

・国道、新方川を記入

した。

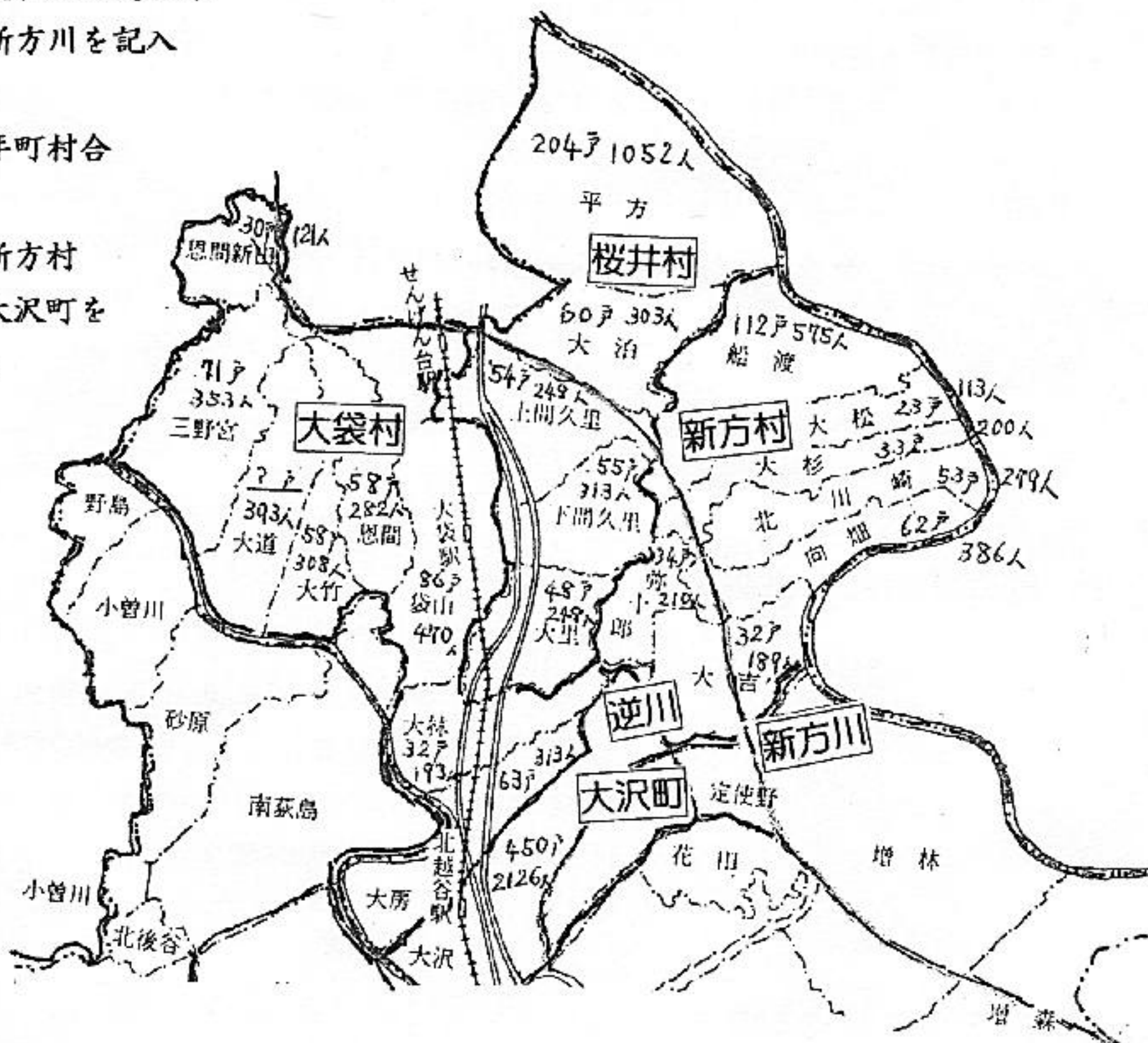
明治22年町村合

併後の

桜井村、新方村

大袋村、大沢町を

記入した。





水ぬるむ干間堀—念仏橋付近（昭和40年代）



<次の資料から引用しました>

- 1 わが町の歴史 越谷 竹内誠 本間清利
- 2 越谷 ふるさと散歩(上・下) 越谷市史編さん室
- 3 越谷の歴史物語(第1・2・3集) 越谷市役所
- 4 越谷市史 越谷市役所
- 5 埼玉東部今昔物語 本間清利